

## 十文字学園女子大授業

開催日時	2017年5月29日(月)	16:20 ~ 17:50
開催場所	十文字学園女子大学	4号館2階の421教室 (階段教室)
参加者	加藤・滝口・益田・森口・田近	見学2名
受講者	十文字学園女子大学生	35人

### <本講座の学園のテーマ>

我が国において、国民の安心・安全がどのようにして守られているかを理解し、危機を乗り越えるために、自分にできることは何かを考える。

自然災害、火災、事故、犯罪などの偶発的危機への対処のほか、食品、被服、電化製品など、身近な生活における安全確保、世界のテロや紛争などグローバルな危機についても学ぶ。

授業を通して、危機を乗り越え安全を確保するには、制度や法律、政策だけでは不十分であり、自助、共助の必要性を理解するとともに、暮らしの安全・安心について関心を持ち、消費者としての自立を促し、自身の安全確保についての認識を明確にすることを目的としている。

### <研究会のねらい>

「身の周りの安全を考える上で、身近にある製品の安全性等について、消費者の視点で考え関心を持つことは重要である」ことを認識してもらおう。また、安全に配慮された製

品を選ぶ目を養う必要性も考える。

①子どもの服の安全規格 JIS L 4129 が策定された背景と現状を知る。

②消費者自ら JIS 策定に参画することは可能であり、消費者の安全な暮らしに寄与する。

一方 JIS が策定されても、消費者が JIS 適合商品を購入しなければ、安全な製品は社会に流通しない。自立した消費者を作る為にも、制度ができた後も、継続的な情報提供や

啓

発が必要であることを認識する。

③暮らしの中の標準化について考える。

④助けや危険を知らせる音について紹介する。

### <授業概要>

#### 挨拶・アイスブレイキング

「どちらをえらびますか？」を見せどちらを選ぶか挙手させる。

どちらを選びますか？



### ①JIS L 4129 の普及啓発ツール（掛け合い）を披露

- ・研究会の活動目標（日常生活を安全に暮らすために消費者の視点で安全基準を作る）と、4129 の普及啓発の為に作成した啓発ツールであることを説明し、掛け合いスタート。最後にパンフレットの説明。

### ②子ども服の安全基準 JIS L 4129 についての説明（40分）

安全な暮らしを考える上で、身の回りの製品にも注意を払うことも大事である。消費者の視点で見ると、安全性が不十分だったり、使いにくい製品もある。私達も安全に対する意識を高め、行動することで、製品の安全基準を作ることもできる。子どもの命を守る為に、子ども服の安全基準作りを進めた活動を紹介する。標準化という手法も利用してほしい。

- ・策定までの活動紹介（独自の調査・意見交換など）、子ども服の見本を提示
- ・高い幼児死亡率、JIS Z 8050 : 2016 (ISO ガイド 50) の紹介

消費者が標準化に参加・提案する意義とメリット

⇒消費者の視点から考えて提案することにより、意見が規格に反映され、実効的なものとなる。例：ヒモだけでなくフードの危険性も提言することにより規格の付属書やパンフにも盛り込まれ、製品の改善（取り外し可能なデザイン）に繋がった。

### ③バラバラ国（標準化の必要性についての啓発ツール）を披露、JIS の種探し（40分）

- ・標準化の説明（JIS 規格・標準化の役割）
- ・バラバラ国物語を披露
- ・JIS のタネ探し

⇒各自フォームを記入：「身の回りに、標準化したらよいと感じるものはありますか？」  
記入している時にメンバーが回り観察。下記の事例も紹介。

- ・ペンキャップ JIS：ペンキャップを見せ、幼児が誤飲しても窒息しないように、ペンキャップの先に穴が開いているが、これも子どもを守る為の JIS 規格であることを紹介。
- ・音の標準化：（ブザー4個を鳴らし、音が様々であることを紹介）

「小学生の時に配られたブザーと同じ」、「ブザーが配布された時に、一度鳴らして本当に鳴るか確認するように言われた」、「何の音か分からない・・・」等の意見があった。

※学生が提案した JIS のタネは別途分析

#### <星野教授より学生に感想を聞いた>

「実際にフードがジャングルジムに引っ掛かった」や、「ヒモが何か（？）引っ掛かったことがある」等の経験談があった。

④挨拶 アンケートの依頼

※アンケート結果は別途集計

以上



<授業風景>

JISの種探し記入フォーム

身の回りに、標準化したらよいと感じるものはありませんか？

バラバラだと思うもの		例) 子ども服のヒモ		
現	状	子ども服のいろんな部分に、様々な長さのヒモが付いている。		
理	①危険だ	引っかかって首が締まる。転倒する。		
	②不便だ	結んでもほどける。引っかかる。		
由	③環境に優しいかどうか			
	④説明が分かりやすいかどうか			
	⑤誰にとって	子どもに危険。		
	⑥楽しいか	ヒモが嫌いな子どももいる。		
	⑦こうなったら良い	ヒモは無くてもよい。		
	⑧その他	子ども服のヒモを禁止している国もある。		

2017年5月29日 70